

今年度の研修テーマ

郷土のよさについて体験を通して問題を追究する子どもをめざして

テーマの趣旨

村上地区では、数年前から「郷育プログラム」を各学校で指導計画の中に位置づけた。そのため、地域に根差した総合的な学習の時間の計画となった。そこで当部会でも「郷土のよさ」に視点を絞り研修を深めてきている。自分の生まれたふるさとを調べるために、地域の人々とふれあう体験を重視した。そして、地域の中で体験活動を計画し、新しい発見や疑問が生じることで問題追究へと展開できると考えた。当部会では、各校の指導計画や教材開発の見直しを図り、地域の中で体験活動の重要性・留意点を話し合うことを通して、各校での授業実践につなげることをねらった。

平成23年度の活動の概要

4月 27日(水) 第1回 代表部員会 代表者による活動計画案作成

8月 25日(木) 第1回 部会 会場：村上市立上海府小学校

研修内容：教育課程伝達講習会・情報交換，意見交換

部員のための体験活動 <塩作り体験>

「手作りの塩と市販の塩を比べてみよう」

推進メンバー 担当理事 上海府小 校長

部長 岩船小 副部長 三面小

代表部員 村上小・村上南小・瀬波小・山辺里小・粟島浦小・保内小・金屋小

平林小・関川小・猿沢小・さんぼく南小・さんぼく北小 14名

新教育課程伝達講習会及び総合部研修会

1 日時：平成23年8月25日(木) 13:30～16:30

2 内容：(1) 新教育課程研究集会伝達講習会 13:30～持参資料 新学習指導要領解説

<平成23年7月11日(月) 県教育センター新教育課程研究集会の資料による>

(2) 情報交換会 14:10～情報交換(テーマに合わせた総合の実践報告)

各学校の3～6年生の活動内容を中心にめざす力の育成を主眼に話し合った。

(3) 「海水から塩を作ろう」塩作り体験 15:30～ 教師自身の体験を広げるために

“日本海の海水から塩を作り、市販させている塩と比べてみよう。”(岩船の塩で塩引き作りした紹介)

笹川流れで作られた市販の塩と日本海の海水で児童が作った塩を比べるために地域の食材に付けて食べ比べ会(キュウリ・枝豆・ゆで卵など)・塩を使った商品の紹介(塩飴・塩サイダーなど)

<日本海の海水から塩を作り>本研修では、④・⑤を実施した。

作り方：①村上の海でとれた海水をコーヒーフィルターに数回かけて、異物を取り除く。

②海水を1/10位になるまで煮詰める。

③煮詰めた海水をコーヒーフィルターにかけて白い濁りをとる。

④ホットプレートで海水の水分を取る。

⑤水分がとれて湿っている状態の塩をコーヒーフィルターにかけてにがりを取る。

⑥乾燥させて出来上がり。

体験活動は、教師自身が楽しむことが一番である。研修では、作業をすることで部員同士のコミュニケーション力を高めることができた。人とかかわる活動は、生きる力を身に付ける大切なことである。

